



Citrus
Ribbon
PROJECT

横浜市中区役所はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています

シトラスリボンプロジェクトとは

シトラスリボンプロジェクトとは、愛媛県の有志グループが立ち上げたアウェアネス・リボン運動プロジェクトです。

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、たとえ感染しても地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せることが大切です。このプロジェクトを通じて、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる風土をつくり、思いやりのある、暮らしやすい社会を目指します。

(参考:<https://citrus-ribbon.com/>)



シトラスリボンは、三つの輪(「地域」「家庭」「職場または学校」)を象ったシトラス(柑橘)色のリボンです。それぞれの場から、差別や偏見の無い思いやりのある社会を目指していく意味が込められています。

シトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍における差別偏見の解消だけにとどまらず、共生社会の実現を目指すうえで重要な相互理解・尊重を促し、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながります。

さらには、SDGsにおける17のゴールのうち、「3. すべての人に健康と福祉を」や「10. 人や国の不平等をなくそう」などに関連した持続可能な社会への構築に寄与していくものです。



横浜市、とりわけ多様性のあふれる中区において取り組むことに大きな意義があると考え、中区役所でもこの活動の趣旨に賛同し、職員有志でシトラスリボンプロジェクトを立ち上げ、区内の個人・事業所・団体と連携しながら活動しています。